

グランシップ20周年記念

グランシップ伝統芸能シリーズ

# グランシップ静岡能



半能  
高砂  
たかさご



観世三郎太

相生の松になぞらえ  
永遠の夫婦愛や繁栄を謡う  
祝言能の傑作。

一人翁  
ひとりおきな



山階彌右衛門



撮影 前島吉裕

グランシップ20周年と  
新時代を迎えた年にふさわしい  
特別な舞に注目!

## 能楽 入門公演

### ◆第一部

観世流能楽師による能楽入門公演

これまでの能楽教室参加者の代表による発表  
グランシップの能楽の取り組みについて  
謡の体験「大典」  
仕舞「羽衣(キリ)」観世芳伸

### ◆第二部

「一人翁」山階彌右衛門  
半能「高砂」観世三郎太

ロビーでは、  
静岡県と観世宗家との関わり  
グランシップ20年間の能楽の  
取り組みなどをパネル展示。

毎年人気の  
能面体験コーナーも。

写真撮影  
OKです!



◎全席指定 1,000円

※未就学児入場不可  
※「静岡県高校生アートラリー」ポイント対象公演

お着物でご来場の方に先着でプレゼント進呈!

チケット発売・お問い合わせ

グランシップチケットセンター TEL.054-289-9000 (営業時間10:00~18:30/休館日を除く)  
グランシップホームページからは空席状況に応じてお好きな席を購入できます。[コンビニ引取手数料無料]

<http://www.granship.or.jp/>

グランシップ

検索

2019年9月7日 土

14:00開演  
(13:30開場)

グランシップ 中ホール・大地  
(JR東静岡駅南口隣接)



文化庁文化芸術振興費補助金  
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会

主催:公益財団法人静岡県文化財団、静岡県、静岡県能楽協会、静岡新聞社・静岡放送  
共催:一般財団法人観世文庫

後援:静岡県教育委員会、静岡市教育委員会  
協力:株式会社紺文シルク



# グランシップ静岡能 能楽入門公演

年間を通して、能楽、文楽、歌舞伎をお楽しみいただける「グランシップ伝統芸能シリーズ」2020年を目前にした今こそ、日本の魅力ある文化を多くの方に触れていただけるよう、「日本を知ろう!」と題し、伝統芸能を多角的に紹介しています。今年度は、能楽にスポーツを当て、初めての方にも分かりやすく、楽しみ方や魅力をお伝えします。

手頃な料金で一流の能楽師による公演をごらんいただける本公演は、グランシップ20周年記念として、これまでの公演を振り返るとともに「令和」という新しい時代を迎えた年にふさわしい演目を特別上演。

「一人翁」は山階家ならではの特別な演目で、神聖な儀式のような雰囲気になります。また、「高砂」も古く室町時代から現在に至るまで代表的な能の祝言曲として、人々に広く親しまれ、長寿や夫婦円満などの願いが込められています。美しい詞章や所作が清らかで、気品に満ちた名曲。「高砂」のシテを務めるのは、1999年生まれ、観世三郎太さん(二十六世観世宗家観世清和の嫡男。観世流シテ方能楽師)。

これからの能楽界を担う若い世代の活躍に是非注目ください。ロビーではグランシップのこれまでの能楽の取り組みを紹介するパネル展示や、能面を直接手に取ることができる能面体験コーナーをご用意しています。

## 一人翁 解説

古より、御代を寿ぎ、「五穀豊穰、国土安穩、世界平和」を神前に誓い、平和と皆様方の幸せを祈り奉納する、儀式的要素が強く荘重な祝典の舞。

常の(翁)とは異なり、千歳、三番叟は登場せず、囃子方も伴わないが、地謡との掛け合いで、直面の翁大夫が舞を舞い奉納する。

(ひとり翁)の起源は古く、世阿弥の「申楽談儀」にも記述があり、古来より慶長年間まで、近江猿樂、山階家の当主が滋賀県・日吉大社にて奉納していた事が伺える。

現在でも絶える事無く、新年を迎える元日0時より、山階家の当主が東京・赤坂 日枝神社の神殿にて、吉例により奉納している。

当日は、新元号を寿ぎ、山階家の現当主、十二世山階彌右衛門が特別に「一人翁」を勤めます。

## 半能(高砂) あらすじ

九州 肥後国、阿蘇宮の神主・友成(フキ)の一行が都に上る途中、播州・高砂の浦に立ち寄ります。春の高砂の浦に老人夫婦(前シテツル)が現れ、辺りの景色を眺めつつ老いの身の感慨を述べ、松の落葉を掃き清めます。友成の問いに高砂の松を教え、「相生の松」と呼ばれる謂れを語ります。

「高砂・住吉の松は遠く離れていながらも「古今集」にも詠まれるように「相生」の名がある。また私は津の国、住吉の者、姥はこ高砂の者で、遠く離れていても夫婦として互いに心は通い合う。松でさえ「相生」の名で呼ばれるのに、ましてや人なら尚のこと。松とともにこの歳まで共に生き、共に老いて相生の夫婦となっているのです」

さらに松についての目出度い謂れ、草木国土、風や水の音にまで全て心が宿り、和歌の姿を表している。中でも松の木は万木に優れ、いつまでも変わらぬ緑を湛え、永き御代にたとえられる常葉木である。その松の中でも名高い高砂の松は、未代までの佳例とされる「相生の松」は目出度いことを語り、自分達こそ高砂・住吉の松の精であることを明かし、住吉で待とうと言いつつ、残して舟に乗り沖の方へと消えて行きます。(中人)

やがて高砂の浦より舟で住吉の浦へと着いた友成一行の前に、住吉明神(後シテ)が姿を現し、有り難い神の御影向、神は風爽と神舞を舞い、御代を寿ぐのです。

当日は、(中人)後、有名な待謡「高砂やこの浦船に帆を上げて」より、神々しい神舞を二十六世観世宗家 観世清和 嫡男 観世三郎太が上演致します。



**山階彌右衛門(観世流シテ方)**  
昭和36年生まれ。二十五世観世左近元正の次男。父及び兄・二十六世観世清和に師事。2008年、山階家当主の名跡である彌右衛門(十二世)を襲名、観世流シテ方として様々な舞台に出演。また学校教育や子どもへの古典の普及に力を注ぐ。重要無形文化財総合指定保持者 / (一財)観世文庫常務理事、(一社)観世会副理事長



**観世三郎太(観世流シテ方)**  
1999年生まれ。二十六世宗家観世清和の嫡男。父に師事。5歳のとき、能「鞍馬天狗」にて初舞台の後、子方(子役)とし数多くの舞台を勤める。2009年「合浦」にて初シテ(主役)後、「菊彦童」「土蜘蛛」「鷺」などシテを勤め、2015年「経正」にて初面(初めて能面を掛けて舞う事)、そして「花月」「石橋」など勤め現在に至る。次世代を担う能楽師の筆頭として舞台を勤める一方、大学生として学業もこなし、文武両道に励んでいる。



**公演当日**  
お着物でご来場の方に先着でプレゼントをご用意。  
子どもから大人までどなたでも!



**能面体験コーナー**  
公演当日、会場ロビーでは能面を実際に手に取って付けることのできる能面体験コーナーもご用意。他にも、観世能楽堂グッズや書籍等の販売もご用意。能面提供:持田維一

**グランシップ20周年記念 パネル展示**  
これまで20年の間、グランシップが能楽に取り組み様子や観世宗家と静岡県の関わりをパネルで紹介しています。子どもたちや初めての方に向けて様々なアプローチで能楽の魅力をお伝えしています。

この後も、多彩な伝統芸能をお楽しみに!

**各地域に伝わる芸能を次世代に!**

静岡県文化プログラム

**「ふじのくに伝統芸能フェスティバル」**

2019年  
9月22日(日) 14:00~  
グランシップ 中ホール・大地  
芸能や文化が伝わってきた過去を知り、次世代への継承に取り組み地域に根付いた民俗芸能団体の活動を紹介します。

出演:掛川三社祭礼囃子保存会(掛川市)、笹間神楽保存会(川根本町)、富士宮囃子保存会(富士宮市)、静岡県立駿河総合高等学校太鼓部(静岡市)他

司会:久保ひとみ / コメンテーター:岩下尚史  
入場無料(事前申込制、先着順)  
申込受付:8月1日(木)~

**次世代を担う能楽師による本格的な能楽公演!**

**「グランシップ静岡能(宝生流・金剛流)」**

2020年  
1月25日(土) 14:00~  
グランシップ 中ホール・大地  
「加賀宝生・金剛」、伝統と文化に彩られた豪華な異流共演。

演目:「龍虎」他  
出演:宝生和英(宝生流第二十代宗家)、金剛龍謹(金剛流第二十七世若宗家)他  
全席指定 / 一般 5,200円 子ども・学生 1,000円  
友の会先行販売:10月20日(日)~26日(土)  
一般発売:10月27日(日)~

**能楽の囃子を生演奏で!**

**「雛の宴~五人囃子のひなまつり~」**

2020年  
3月8日(日) 14:00~  
グランシップ 6階交流ホール  
おひなさまの五人囃子を演奏で楽しめる春の季節にふさわしい華やかな演奏会。

出演:大島衣恵(喜多流女流能楽師)、大倉源次郎(大倉流小鼓方十六世宗家・人間国宝)他  
全席自由 / 一般 2,500円 子ども・学生 1,000円  
友の会先行販売:12月15日(日)~21日(土)  
一般発売:12月22日(日)~

**交通アクセス**

- JR東静岡駅南口隣接
- 静岡鉄道長沼駅徒歩10分
- 東海道新幹線(ひかり)で東京、名古屋から1時間、新大阪から2時間。JR静岡駅乗換、東静岡まで3分
- 車では、東名高速道路静岡I.C.から20分、新東名高速道路静岡I.C.から10分
- 公演当日は混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください

**託児案内**

ボランティアスタッフによる託児サービス(無料、2歳以上の未就学児に限る)をご利用の方は、公演1週間前までにご連絡ください。定員になり次第、締め切らせていただきます。

**車椅子でご来場の方は、公演前日までにご連絡ください。**

【託児サービス及び車椅子でご来場のお問い合わせ】  
(公財)静岡県文化財団事業課 TEL. 054-203-5714

